

電 力 情 報

NO. 44

平成 23 年 9 月 28 日

東 北 電 力 (株)

8 月分の電力需給実績について

1. 電力需要について (表 - 1 参照)

8 月分の販売電力量は、61 億 6,500 万 kWh、対前年比 83.1% の実績となり、東日本大震災の影響、節電等へのご協力、前年の高気温の反動などにより、6 カ月連続で前年実績を下回りました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

特定規模需要以外の需要 (自由化対象以外のお客さま)

電灯は、東日本大震災の影響、節電へのご協力、前年の高気温の反動などにより、対前年比 83.1% の実績となりました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比 82.9% の実績となりました。

特定規模需要 (自由化対象のお客さま)

業務用電力は、東日本大震災の影響、節電へのご協力、前年の高気温の反動などにより対前年比 78.5% と、前年を下回る実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比 83.3% の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

大口電力

大口電力は、東日本大震災の影響、電力使用制限令の影響、前年の高気温の反動などにより、対前年比 84.2% の実績となり、6 カ月連続で前年実績を下回りました。

2．供給力について（表 - 2 参照）

8月の発受電電力量の合計は、68億2,500万kWh、対前年比81.9%の実績となり、東日本大震災の影響などにより、6カ月連続で前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率は103.6%の豊水となりました。

新潟・福島豪雨の影響により停止中の発電所があることから、発電量は前年を2億2,200万kWh下回る3億7,600万kWhとなりました。

（自社火力）

東日本大震災の影響により、停止した発電所の発電量を補うため、被災を免れた発電所が高稼働したことや、前年との運転状況の違いなどから、発電量は前年を1億9,000万kWh上回る42億8,600万kWhとなりました。

（自社原子力）

東日本大震災の影響により、女川原子力発電所の全号機が停止中であること、および東通原子力発電所1号機が定期検査で停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を1,000万kWh上回る8,500万kWhとなりました。

（他社受電）

東日本大震災の影響により、他社の発電所において停止しているプラントがあることや、前年との運転状況の違いなどから、他社受電合計では前年を3億2,800万kWh下回る16億9,600万kWhとなりました。

以 上